

サポーター体験記 305

ねり☆エコの活動を知って、目指せ「ゼロカーボンシティ」!

取材日 令和6年2月13日 更新日 令和6年3月4日

お役立ち情報

2050年までに二酸化炭素(CO₂)排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言した練馬区。脱炭素社会に向け、地域一体となって地球温暖化対策を推進しているのが、練馬区地球温暖化対策地域協議会(愛称:ねり☆エコ)です。設立の経緯から具体的な活動内容について話を聞きました。

練馬区地球温暖化対策地域協議会(ねり☆エコ)

※以下、文中敬称略。

会長/横倉 尚(よこくら たかし)さん
 事業部会長/小口 深志(おぐち ふかし)さん
 事務局長/柴田 宏幸(しばた ひろゆき)さん
 住所:練馬区豊玉北5-29-8 練馬センタービル5階
 電話:03-3993-8011
 URL:<https://www.nerico.com/>

地球温暖化対策を推進する団体として平成22年に発足



お話を伺った3名。左から横倉会長、小口事業部会長、柴田事務局長

― 「ねり☆エコ」は、どんな組織ですか。

小口「国の『地球温暖化対策の推進に関する法律』に基づいて、温暖化対策を推進していくための『地域協議会』を地方自治体に作りましょうという流れができました。これを受け練馬区では、平成22年（2010年）に『練馬区地球温暖化対策地域協議会（以下：ねり☆エコ）』を発足しました。地域協議会は、全ての自治体が作らなければならないというものではありません。実際に立ち上げている自治体は少なく、東京都全体でも9団体しかありません」

横倉「練馬区はいち早く発足したので、当初は、どういった組織なのか参考にしたいと、いくつかの自治体が訪ねてくれました」

― 構成メンバーはどのような方たちですか？

小口「区民と事業者と区の三者がネットワークを組んでおり、現在27の会員で構成されています。地域で活動する区民団体や区内の企業・事業者団体、教育委員会、学識経験者など様々です。事務局は、区の委託を受けた練馬区環境まちづくり公社が運営しており、環境に関するイベントや講演会などの事業を行っています」



ねり☆エコ事務局の入口ボード

― リフレットを拝見しましたが、西武鉄道や西武バス、練馬区商店街連合会、練馬区リサイクル事業協同組合などがメンバーなのですね。

横倉「温暖化対策と一緒に取り組む区民団体や事業者などに入っています。『グリーンウォッシング（※）』という言葉もありますので、慎重に議論したうえで決めています」

※グリーンウォッシング...企業、製品やサービスが環境に配慮したように見せかけているが、その実態がそうではないことを指します。

啓発のターゲットは子どもから高齢者まで、多世代に向けてウェブサイトを充実！

― ねり☆エコの主な役割を教えてください。

横倉「区の行政と区民、事業者をつなげていくというのがねり☆エコの立ち位置で、啓発活動が基本です。地球温暖化の問題について、事業者や団体などと世界的な取り組みやトレンドを共有し、各会員のステークホルダー（利害関係者）に対して広報をしていただく。もう一つは、事業者や団体などが努力している取り組みを区民の皆さんに知らせること。イベントもこの2つのタイプに分けて、区民の皆さんに情報提供をしています。最近では、会員ではないけれども、イベントに出展したいという企業が増えてきました。令和5年度の区民向けイベントでは、サントリーホールディングス（株）やトヨタモビリティ東京（株）が初出展でした。環境への自社の取り組みを区民の皆さんに詳しく知ってもらいたいという意向が強いですね」

― 具体的にはどんな活動をしているのですか。

小口「大きなイベントとしては、令和4年（2022年）から主に小・中学生とその保護者に向けて、『夏休み！ねりま環境まなびフェスタ』をスタートさせました。子どもたちの夏休みの宿題や自由研究のヒントになるような参加・体験型のイベントです。先ほど挙げたような有名企業も出展しています。下水道施設のVR体験やエネルギーを作る実験、生きものとの触れ合いなどのブースが人気です」



Coconeriホールで開催される「夏休み！ねりま環境まなびフェスタ」は、親子連れを中心に大盛況（2023年7月29日）の様子



東京都下水道局西部第二下水道事務所ブースの「下水道施設VR体験」



練馬区立中里郷土の森緑地ブースの「触れるいきもの展示」



株式会社ライフコーポレーションブースの「ライフのサステナツアー」。店舗のバックヤードに入れるので子どもたちは興味津々！

柴田「子どもを対象にした啓発では、区内の小学3年生から中学2年生を対象に、地球環境に関する絵を募集して表彰する『こどもエコ・コンクール』があります。令和5年（2023年）で13回目になりました。毎年2,000作品以上の応募があり、子どもたちが環境問題に関心を持つきっかけになっていると感じています」



「こどもエコ・コンクール」の入賞作品はイベント会場や区役所アトリウムなどに展示されます

—お子さんをターゲットにしているものが多い理由はなぜですか？

小口 「それまでイベントなどの環境問題に関心を持っていたのは、高齢者が中心でした。ねり☆エコでは、これから生きていく子どもたちと、子どもたちの家族への啓発を強化する必要があると考えました。区内のCO₂排出量の5割以上は、家庭部門が占めています。工場は少なく、住宅地が大半を占めるからです。CO₂排出量を減らすには、区民の皆さんに省エネについて関心を持ってもらい、それを行動につなげてもらうのが大事だと考えています」

横倉 「子どもたちが『夏休み！ねり☆環境まなびフェスタ』で学んできて、『電気をつけっぱなしにしちゃダメ』と、親が子どもに叱られてやり出すというケースもあるそうですよ（笑）」

—講演会もあるそうですね。

横倉 「6月の環境月間に合わせて、講演会を行っています。子どもたちに人気があるのは、国立科学博物館の真鍋真氏を講師に招いた恐竜の話。これまでに2回開いていますが、キャンセル待ちが出るほどです。おしゃべりする子も居眠りする子もなく、熱心さにつくづく感心しますね。生物が突然絶滅するという歴史上の大きな環境の変化は、人類もそういった可能性がゼロではないと、子どもたちにも伝わっているのではないのでしょうか」



令和5年度 環境月間講演会「恐竜博士がやってくる！ 恐竜から考える私たちの現代と近未来」

—イベントや講演会以外で、情報発信ツールはありますか？ また、手応えはいかがですか。

柴田「ホームページを軸として、X（旧Twitter）とメールマガジンでも情報発信しています。ホームページのアクセスは月間1万件ほど。令和3年（2021年）にNHKの番組『チョコちゃんに叱られる！』で、地球温暖化対策が取り上げられたときは、ねり☆エコのホームページのアクセスが急増しましたね。また、コロナ禍でイベントが中止となった時期は、家でできる環境学習のコンテンツを充実させました。また、ねり☆エコの会員である教育委員会の協力により、小学生に配布されるタブレットに、ねり☆エコのホームページが『お気に入り』登録されました。ねり☆エコがより身近なものになると思います」



X（旧Twitter）公式アカウント。マスコットキャラクターの「ねりねこ☆ま」と「ねりこんvv」がアイコンです。

小口「ホームページ内にe-ラーニングのコーナーもあり、子ども向けの中でも、小学1年生からと小学5年生からと対象をキメ細かく設定しています。おとな向けもあります。また、動画のコーナーもありますので、ぜひご覧ください。『ねりまのエコ暮らし帳』では、ふだんの生活で取り組める省エネのコツやねりまのエコな取り組みを紹介しています」



「ねり☆エコ e-ラーニング」



「ねりまのエコ暮らし帳」



「ねり☆エコ動画」

食品ロスの削減、地産地消、エコクッキングなど切り口も多彩

—地球温暖化を考える際、エネルギー以外で取り上げていることはありますか。

小口「食品ロスの削減や地産地消、エコクッキング（※）などがあります。今後は、サステナブルファッション（※）やカーボンフットプリント、緑化による環境負荷の低減なども取り上げていきたいと検討しているところです」

横倉「カーボンフットプリントとは、製品やサービスの原材料から家庭に届くまでのCO₂排出量の総量を算出し表示するものです。算出には非常に手間とコストがかかりますが先進的に取り組んでいる国もあり、世界的な流れになっています。日本でも時間はかかるでしょうが、いずれ制度化されると思います。商品やサービスを選ぶ基準として、価格と同じようにCO₂排出量も消費者が意識するようになれば、企業側も変わっていくはずで、区でCO₂排出量が最も多いのは家庭部門です。この分野の情報が整備されればCO₂排出量の削減に大いに貢献すると思います」

※エコクッキング...地球環境に配慮した料理のこと。具体的には、省エネルギーや廃棄物の削減、地産地消などの取り組みを料理に取り入れることで、環境負荷を最小限に抑えるような調理方法や料理スタイルを指します。

※サステナブルファッション...衣服の生産から着用・廃棄までのプロセスにおいて持続可能であることを目指し、環境や社会に配慮した取り組みのこと。

—区のゼロカーボンシティに向けた今後の課題はどんなことですか？

横倉「ゼロカーボンシティを達成するには、脱炭素を意識した行動を進めていくことが必要です。先ほどお話ししたカーボンフットプリントは、我々の力だけではできません。ねり☆エコとしてできるのは意識改革です。今後は、地球温暖化対策で新しい技術や仕組み、制度ができるでしょう。がらりと変わるような新しい取り組みが行われないと、2050年のカーボンフリー（企業や国家による温室効果ガスの排出量を完全にゼロにすること）だったり、今世紀末までに世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べ1.5度に抑える目標値だったり達成できません。ただ一方で、新しい仕組みや制度にはプラスとマイナスの両面があります。国民のひとりとして区民が正確に評価できるように、ねり☆エコが科学的知見に基づいた情報を提供していくことが、ますます重要になると思っています」

—1人のとる行動には限界がありますね。

横倉「CO₂の排出は規制がないので、排出者にとってはともしれば出したもの勝ちというのが現状です。炭素税のようにCO₂の排出量に応じて税金をかける、あるいは排出権取引といって、割り当てられた排出量の枠を超えた分は取引で埋める。こういうことが具体的に議論されています」



毎年2月に区役所アトリウムで開催される「スタート！エコライフ」（2023年の様子）。企業や団体のブース展示から、環境に関する取り組みを知ることができます

シニア世代へのメッセージは...「子や孫といっしょに考えよう！」

—最後に、シニアナビ読者へのメッセージをお願いします。

横倉「私も含めて高齢者はどうかここまで生き延びてきました（笑）。でも、この先は違う。地球温暖化の問題は、遠いどこかの国で起きたことも世界に影響するというエリア的な広がりがあります。また、いま排出されているCO₂が100年先、200年先まで影響するという時間的な広がりもあります。若い人に託すしかない大きな問題とはいえ、足並みを揃えて多面的な努力を続ければ、解決できないわけではありません」

小口「地球温暖化の問題は、子や孫の世代に渡って継続的に考えて実行してもらわなければなりません。そのために我々の経験を伝えていくことが使命だと思っています」

柴田「ねり☆エコでは、『夏休み！ねりま環境まなびフェスタ』や『子どもエコ・コンクール』など様々な子ども向けの事業をしています。ねり☆エコのホームページを見て、お孫さんなどといっしょにイベントに参加したり、温暖化対策を進めてもらいたいですね」



サポーターによる取材の様子。専門的な話もわかりやすく教えてくれました

サポーターの取材後記

フカフカ

「ねり☆エコ」ってどんな団体なの？ そんな関心から始まった取材だったが、炭素税、排出権取引、カーボンフットプリント、カーボンニュートラルなど、「地球温暖化」を取り巻く話題から、「温暖化をどう解決するか」という話にまで広がって、あっという間の時間だった。誰もが一度は耳にしたことがある「地球温暖化」。ただ目に見えないだけにCO₂の排出量が増えているといっても実感はない。だが、経験したことがない酷暑や激甚災害を目の当たりにする度に、その影響が頭をよぎる。緑が多く、「ゼロカーボンシティ」を目指す練馬区が全国に先駆けて立ち上げたという「ねり☆エコ」。同団体が発信している貴重な情報や取り組みに目を向け、省エネや食品ロスなど自分でできることを実践しながら、次世代にも環境問題の重要性を伝えていきたい。

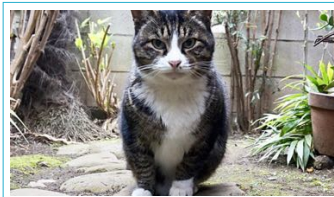
[サポーター紹介▶](#)

おすすめの体験記



アニメだけじゃない！資源豊かな練馬の映像文化をもっと楽しもう！

© 2024年2月13日



人と猫が共生できるまちを目指す、練馬の「地域猫活動」

© 2023年8月25日

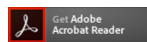


練馬から発信！指1本で音楽家になれる指笛の魅力

© 2023年6月12日

シェアする

ツイートする



PDF形式のファイルを開くには、Adobe Acrobat Reader が必要です。お持ちでない方は、Adobe社から無償でダウンロードできます。

[Adobe Acrobat Readerダウンロード](#)

シニアナビねりま

練馬区高齢社会対策課 いきがい係
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6-12-1
03-5984-4763（直通）

※受付時間：午前9時～午後5時（土日祝日、年末年始を除く）

サイトマップ

[トップページ](#)

[イベント](#)

- ・ 今月のイベント
- ・ 来月のイベント

[サポーター体験記](#)

- ・ 体験記
- ・ サポーター紹介
- ・ OB・OG徒然記

[サークル・サービス団体](#)

- サークル一覧
- サービス団体一覧

ボランティア情報

- 募集中のボランティア
- ボランティアについて調べる

地域から探す

- 練馬地区
- 石神井地区
- 大泉地区
- 光が丘地区

ナビ通信

お知らせ

各種お申込み

- 新規団体申込
- イベント掲載依頼
- お知らせ掲載依頼
- メールマガジン登録
- ご意見・ご要望
- バナー広告掲載について

ご相談窓口

- 各種相談窓口
- シニアナビねりまについて
- よくある質問
- 老人クラブ情報
- ご家族の方へ

個人情報について・免責事項